

暮らした森林の共生



規則性あふれる杉の美林。美林が各地で復活すれば、地域の再生にもつながる

これほど、このシロツクスにふさわしい名前と経歴の持ち主はいない。森英樹さん。
名前に森と樹の文字。誕生日は一九五五年四月二十九日、みどりの日だ。昨秋まで林野庁に勤めていたが、今年、鳥取県日南町のLVL注製会社「オロチ」の社長に転身した。日南町の森林が引き寄せたと言っている、不思議な縁での転身だった。



LVLを手にする森さん。幾重にも接着された単板は、一枚一枚に人々の期待がこめられているようだ

入れが難しくなり、山が荒れる。そのことは木材の買値の低下を呼び、さらに木が売れなくなる。オロチが取り組んでいるのは、この流れを変える挑戦だ。木が売れば、悪循環の因果関係は逆転する。その切り札として期待を集めているのが、LVLだ。ゆがみ、ねじれといった

好循環の呼び水 “売れる木”への挑戦

「総論ではなく現場で各論を考えないと、問題は解決しない。国は各論を地域の視点で考えることをしない」
各論は森林問題の「核論」でもある。そんな思いが森さんの胸に芽生えていた。

天然木の欠点を加工で低減し、強度も高める。何より、工務店や消費者のニーズを見つめ「使いやすい材」に加工することが、最大の特微なのかもしれない。
「日南町は自分の判断基準なので」
森さんは日南町への愛着をそう表現した。
三十一歳だった一九八六年から三年間、日南町農林課長として出向し、林業、農業に携わる町民と現場で接した。そのことが社会人としての原点になっているからだ。

「そんなモデルを日南町から全国に発信したい。日南町でできたなら、うちの町でもできる」と思えるはずだ。将来はそんなモデルをつくりたいですね」
森さんが考案したオロチのロゴタイプには「O」の英文字が大きく描かれている。名刺にも大きな丸がデザインされた。それは、森林の好循環、地域の好循環、全国の中山間地の好循環の輪が、それぞれ重なっているように見えた。

就任した。
森さんが悪循環を変えようとしているのは、森林だけではなく、森林と共に暮らしている中山間地の悪循環もだ。森林業が衰え、人口が減り、地域が疲弊していく。この流れを変えて、地域が好循環していくモデルをつくりたいという。

※LVL 丸太をかつらむきしてできた単板(ベニヤ)を繊維方向にそろえて積層接着した木材加工製品。柱や梁(はり)などに利用されている。

企画・編集 新日本海新聞社企画開発部

山陰両県の森林保全などに取り組むNPOなどが参加して「森林を守ろう! 山陰ネットワーク会議」が設立されました。新日本海新聞社は活動の趣旨に賛同して同ネットワークなどの協力で森林保全の輪を広げる企画を来年3月まで随時掲載します。

みんなで森林を守ろう!



倉本 聰 (くらもと そう)
1935年、東京に生まれる。東京大学文学部・美学科卒業。1959年、ニッポン放送入社。1963年、退社後、シナリオ作家として、主にテレビドラマを手掛ける。1977年、富良野に居を移す。1984年より私費を投じ、プロのシナリオライター・役者を養成する為の富良野塾を主宰している。代表作にテレビ「北の国から」、映画「駅-STATION-」、著書「ニングル」など多数。

入場無料

松江会場 平成18年 7月29日(土) 開場 10:00 開会 10:20
鳥根県民会館(大ホール) 定員1,600名



鳥取会場 平成18年 7月30日(日) 開場 13:00 開会 13:20
ホテルニューオータニ 鳥取(鶴の間) 定員900名



対象/12才以上 講師/倉本 聰氏

お申込み方法
専用ハガキもしくは官製ハガキに、お名前・性別・年齢・ご住所・電話番号・ご希望される会場(松江・鳥取)を明記の上、FAXまたはお電話でお申込みください。
※お申込み専用ハガキは山陰合同銀行の本支店、出張所、代理店にあります。

お申込み締切日
各会場とも定員になり次第、募集を締切らせていただきます。

注意
※お申込みの際にはお客様の重要な情報が記載されていますので、ハガキの紛失やFAXの誤送信には充分お気をつけてください。
※ご記入いただいた個人情報は、講演会のご案内及び参加受付のみに使用させていただきます。
※募集定員は鳥根1600名、鳥取900名です。各会場とも定員になり次第、募集を締切らせていただきます。あらかじめご了承ください。
※お車でのご来場はご遠慮ください。
※招待券の発送が開催日に間に合わない場合は、電話にてご連絡いたします。

森林を守ろう! 山陰ネットワーク会議
【事務局】〒690-0062 松江市魚町10番地 山陰合同銀行地域振興部内
TEL.0852-55-1820、1822 FAX.0852-28-0495

「森林を守ろう! 情熱講演会」 倉本 聰の 「北海道で考える」

主催:森林を守ろう! 山陰ネットワーク会議
特別協力:山陰中央新報社、新日本海新聞社
生態系の源である森林の荒廃が進んでいます。山陰両県は全国屈指の森林県です。両県の県民の皆様に森林の現状を知っていただき、望ましい森林を一緒に考え、解決策を探っていく運動を展開すべく、森林保全に関するボランティア団体やNPO法人によって「森林を守ろう! 山陰ネットワーク会議」が発足しました。このネットワーク会議の活動の一環として、北海道富良野市で「富良野自然塾」を設立し、閉鎖されたゴルフ場を森に戻す試みを始めている倉本聰氏を迎えて講演会を開催します。

静寂の中、
美しい森の
声が聞こえる

